

研究通信

NO. 9

12月9日(金)に2年1組の教室で算数の実践提案授業が行われました。

2年 算数 かけ算(2)～九九をつくろう

- ◆授業者 斉藤 千代美先生
- ◆日時 平成27年12月9日(水)
- ◆教科等 算数
- ◆単元名 かけ算(2)～九九をつくろう
- ◆目標 乗法の意味について理解を深め、それをを用いることができるようにする。



《本時で取り組む「学び合いを深めるための手立て」》

イ) 学び合いが成立するための技術を身に付けさせる。

- ・ペアでのやりとり(伝え合い)の仕方を教える。／ハンドサインの活用(聞いて、意思表示)させる。

ク) 授業過程の工夫 自力解決→ペア学習→全体で比較・検討→まとめ→適用問題

- ・自力解決の後ペアで説明し合う活動を通し、自分の考えを確かなものにしたり、考えを深めたりする機会とする。また、全体での比較検討では、友だちの図や式を読む活動を通して、説明する力をつけたり、多様な考え方に触れたりさせる。最後にもう一度適用問題に挑戦することにより、学習したことを活用させる。

ケ) 見通しや振り返り・まとめを授業の中に位置づける。

- ・段々に数が増えていくフラッシュカードや学習掲示から、かけ算で工夫すればできそうだという見通しをもたせる。また、振り返りは児童の意見を生かしながら全体で行い、学習感想で今日の自分の学びを振り返らせる。

《授業者より》

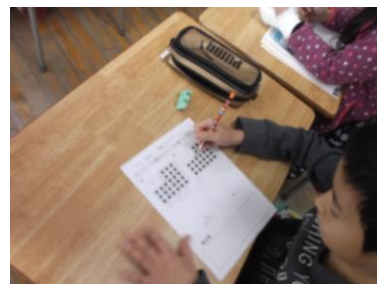
- ・今まで学習してきた成果を出そうと、子ども達なりにがんばった。
- ・かけ算の学習では、“算数は役に立つ”“みんなで決まりを作り上げるのは面白い”“友達の発表で分かる”という部分を意識してきたので、子ども達は楽しみながら学習を行っている。
- ・ハンドサインによる意思表示にも取り組んできたため、少しずつ使えるようになってきた。しかし子ども達も教師も、まだ充分活用しきれていない。
- ・ペアでの活動では、伝える・反応することを意識させてきた。
- ・全体での話し合いの際には、図を読んで式や言葉に表す、式を読んで図や言葉に表すという、学び合いの活動を取り入れた。
- ・教師の予想以上に、いろいろな考えが出たため、時間がかかった。どこで切るか、難しかったが工夫の分類・まとめまでやらないと、思考が終結しない、最後は教師主導でまとめを行った。
- ・見通しをもつ場面では、フラッシュカードを使って考えさせたことで、どうしたらかけ算が使いそうか、子ども達なりに考えることができた。
- ・今回の授業は、4年の変形図形の面積の学習へとつながる大切なものととらえている。

- ・次時では、本時の作戦を再度確認し、似た形の適応問題に取り組む。次時は本時で自分が考えた方法とは違う、高度な方法で解けると良い。

《参観者より》

児童の様子

- とても集中していた。
- 最後まで、身を乗り出したり、のぞき込んだりしながら、よく聞いていた。
- 算数が楽しいという、子ども達の気持ちが伝わってきた。
- 導入の部分で見通しをもたせていて良かった。子ども達も、「ああ、そうか。」「〇〇さんの発表で分かった。」とつぶやきながら聞いていた。
- ペアでの伝え合いが、有効であった。聞く方も「そうか。」「いっしょだね。」と反応しながら聞くことができた。
- 今後可能であれば、立場を明らかにした伝え方（私は〇〇さんの考えと△△が違うので△△について説明します。）を取り入れても良いのではないかな。



教師の指導・支援は有効であったか

- 導入の部分で見通しをもたせていて良かった。どうやったらかけ算が使えるかを言葉で言わせたことで、どの子も解決への道筋を立てることができた。
- 授業のステップを踏ませることは大切。導入のフラッシュカード→見通し→自力解決と、ステップを踏みながら学習を進めることができた。
- 教師の、意見のつなげ方が良かった。図からやり方を考えさせて別の子に発表させたり、反対に、式からやり方を考えて発表させたりと、学び合いが成立していた。
- まとめは教師主導で行ったが、子ども達の言葉でまとめさせても良かった。“～作戦”という言葉を使えば、子ども達の力でも充分まとめることができたのではないかな。



本時の目標は達成されたか

- 達成できた。本時の目標にもあるように、“乗法九九を総合的に活用”することができた。
- 1あたり×いくつ分ということをしっかりおさえていて良かった。



活用という場面に焦点を当てた授業は、今後の実践への足掛かりになったと思います。
斉藤先生、授業提案ありがとうございました。

（文責：依田）